

# 会報



# 生きが



## 第156号

令和2年1月1日発行

公益社団法人  
相模原市シルバー人材センター  
相模原市中央区富士見4-3-1



相模原市シルバー人材センター

ホームページ <https://sagamihara-sc.or.jp/>

検索



会員数(令和元年12月1日現在)

3,203名

## 新年のごあいさつ

会員の皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

併せて当センターが皆様の変らぬご支援、ご協力を賜りながら、事業運営が図られていることに対し、心から厚くお礼申し上げます。

さて、今年度の事業実績の見込みについては、相模大野の伊勢丹の撤退などがあり、大きな減額が予想されたところですが、会員をはじめ役員、職員皆様のご努力により多少の減額で収まるものと予想されます。

一方、センターの要である会員の減少が続いていることは様々な機会を通じて申し上げているところです。社会情勢の変化、労働行政の取組み等によりやむを得ない状況も考えられますが、一人でも多くの高齢者が健康で働くことを通じ、仲間との交流や社会参加などによる生きがいづくりの一助となって行くことがセンターの役割としますので、会員の加入促進に皆様のご協力をお願いいたします。

ところで、私は昨今のセンターを取り巻く環境が多少変化してきているのかな、と感じているところです。それは会員の入会目的・意識の変化、同一労働・同一賃金の問題、そして、令和5年度から導入される「インボイス(消費税)」の網が会員にもかかることです。同一労働・同一賃金については当センターも向う5年をかけて、神奈川県最低賃金に合わせるべく、取り組みを行っていますが、お客様の負担が増すことに

理事長 山中 森勝



なります。

また、インボイスが導入されますと、これもお客様の負担が大きくなりセンター会員の就業の機会が失われることに繋がって行くことが危惧されます。センターは、先に述べました高齢者の福祉、生きがいに資する事業を行っています。センターは営利企業ではなく、公益社団法人です。この2点については、神奈川県シルバー人材センター連合会、全国シルバー人材センター事業協会を通じ、国などへの働きかけを行っていこうと思っています。

話は変わりますが、今年度会員の事故が多発しています。昨年同期比で12件増の30件となっています。主なものは、傷害事故では就業途上の自転車による事故が6件、賠償事故では植木作業、障子・襖張り作業による事故が9件となっています。傷害では本人は痛い思いをし、家族に心配かけることとなります。賠償ではお客様に迷惑をかけ、センターの信用を失います。くれぐれもご自分の健康管理と安全就業をお願いいたします。

令和元年度も残り少なくなりましたが、来年度に向け、親しみやすいセンター、魅力のあるセンターを目指し、会員が笑顔で就業できるよう取り組んでまいりまいたいと思いますので、皆様の更なるご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、私の挨拶といたします。

# 理事会だより

10月17日、令和元年度第4回目の理事会が開催され、令和2年度の配分金見積単価基準が承認されました。今回の改定では、主に県下最低賃金が昨年10月から時間額1,011円に改定されました。また、当センターの配分金は、最低賃金との格差を縮小し、令和6年度を目途に最低賃金と同額とする方針となっていることから、最低配分金の見積単価基準を970円とすることで承認されました。また、除草作業についても時間1,020円とすることも併せて承認されました。

事務費規定についても、令和2年度4月1日から現在の7～8%を8～10%と改定することが承認されました。



## 地区別懇談会での会員のご意見（抜粋）

### （1）就業に関すること

- ①未就業相談会に参加したら、なるべく早く、返答がほしい。
- ②仕事の提供は、事務所からの連絡を待つだけなのか。それとも自から確認すべきか。
- ③定期的に事務所に連絡し、積極的に動くことが必要ではないか。
- ④未就業相談会を有意義な会議にするためには、職員と人間関係を深めることが必要。
- ⑤駐輪場の5年の就業期間満了後も、他の仕事を紹介してほしい。
- ⑥就業会員の年齢制限が必要ではないか。
- ⑦駐輪場は勤務時間が長いため、辞める人が多いので、人数を増やして時間を減らしてほしい。
- ⑧公園清掃で用具を注文しても、対応が遅い。
- ⑨植木の仕事のことで希望・意見・問題を提案しても返答がないので、必ず返答してほしい。
- ⑩二人で除草作業の場合、年齢差や体力差を配慮してほしい。

### （2）会員の拡大に関すること

- ①顔見知りがないので、センター内で話し合う機会が増やせられれば、センターも良くなり、会員も増える。
- ②一般の方向けの着付け教室を開けば、女性会員の拡充に繋がるのではないか。

### （3）新規事業に関すること

- ①ダブルワークやボランティアなどを行っている

人が多くなっているのに、それに対応した仕事の開拓が望ましい。

- ②事務所に仕事を探す営業マンは配置していないのか。

### （4）センター（事務所）に関すること

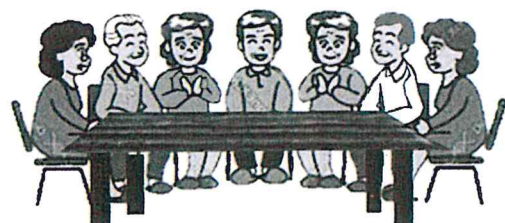
- ①ホームページの仕事の情報が更新されていない。職員の問題意識の発揚を促す。
- ②地区懇談会は今までどおり、職員に参加してほしい。
- ③熱い中、除草等就業をしているので、就業報告書を持参した際は、労いの言葉があれば嬉しい。
- ④管理関係の仕事で、交代した職員に引継ぎがされていない。

### （5）福利厚生に関すること

- ①班単位の懇親会を実施したいが、会員が少ないので出来ない。
- ②懇親会などを通じて、同地区の会員同士で交流したい。

### （6）その他

- ①高齢者の運転免許返納を進言するべきではないか。



# いきがいの仲間たち

## 新磯野保育園内の清掃で就業する藤野さん栗栖さん綿谷さん 【南ブロック】

「新磯野保育園」は小田急線相武台前駅北口より北へ徒歩約13分。鉄筋コンクリート3階建て陸屋根、延べ床面積860.34㎡。入所児童は0歳から就学前まで、定員150名。開所時間は午前7時から午後8時（延長を含む）、職員の構成は常勤職員28名（うち保育士23名）、非常勤職員12名です。そこで就業する藤野典子さん、栗栖郁子さん、綿谷朝子さんを取材しました。

就業期間は月曜日から金曜日（休園日を除く）、午前9時30分から正午まで、実働2.5時間、3人のローテーションを組み、1か月間の当番表を作成し、月の後半に提出しています。担当曜日に変更が伴う場合は事前に調整して代わったことを園長さんに報告しているそうです。

就業内容は、保育室以外の共有部分、廊下、階段、手摺等のモップがけ、掃除機による清掃、拭き掃除、玄関の掃き掃除等です。清掃時間が限られていますので、園児がいるところは避けて、いない場所から先に掃除するように臨機応変に対処していますが、中には、時間内に清掃

が終わらないこともありますので、その時は残った場所を先生に報告しているそうです。一日が「おはようございます」の挨拶から始まり、園児の笑顔から元気を頂いて、丁寧に隅々まで気を配り、清掃作業をするよう心掛けています。皆さん「楽しく仕事をしています」と言っていました。

趣味などを伺ったところ、藤野さんは、家にいるのが好きで、ゲームの「どうぶつの森」、パズルなどで、栗栖さんは、ハイキングや食事の後のカラオケなどで、綿谷さんは、フィットネスクラブと月一のカラオケなどで余暇を楽しんでいるとのことでした。

ご協力いただき、ありがとうございました。

（松本）



左から栗栖さん、綿谷さん、藤野さん

## はなことば相模原で就業する宮崎さんさんがわと山川さん 【中央ブロック】

中央区小町通りにあるプラウドライフ（株）が運営する介護付有料老人ホーム「はなことば相模原」を訪問させていただきました。

はなことば相模原は2011年10月に設立され、現在要支援や要介護の方58名が入居されています。施設スタッフは約30名で、介護・清掃・看護師・ケアマネージャーなどの仕事に従事されています。

今回、宮崎堅次さんと山川忠茂さんにお話を伺いました。就業時間は、月・木・金の3日間で10時～13時までです。仕事は、布団カバー・シーツ・枕カバーなどの交換です。宮崎さんは、この仕事を始めてから1か月で、山川さんはまだ1週間だそうです。仕事の大変なところは、前かがみになることが多いので腰に来るとのことです。ベッドの数が58床あり、1週間に1回全交換するとき寝ている方がいるときは後回しにするそうです。

宮崎さんは「週3日の仕事でメリハリが出る」

山川さんは「まだやり始めて日が浅いので無我夢中」とのことでした。

余暇の過ごし方は、宮崎さんがボウリングを週に1～2回、詩吟を2週間に1回、あじさい大学でコーラスをやられているとのこと。山川さんは、ゴルフ練習場が自宅の前なので週に2回、グリーンには仲間と月1回行かれるそうです。

お忙しいところ、ご協力をいただきありがとうございました。

（小林）



宮崎さんと山川さん

## シルバーまつりを開催



緑区合同庁舎の隣にある橋本公園にて、前日にはスタッフ25人と会員の協力を戴き、テントを張ったり、作業所からテーブルや椅子を運び込み、またパイプ組み立てによるステージ作りをして、11月10日(日)の本番に備えました。

当日は天候にも恵まれて、開店前から野菜販売のテントは長蛇の列。21店舗のフリーマーケットのブースでは人だかりができ始めました。10時に山中理事長の開会宣言で幕を開け、ブースはどこも賑わっていました。

特にフリーマーケットをはじめ、刃物研ぎやシルバーキッチン同好会の焼きそば作り等、各ブースとも大盛況でした。リサイクル自転車販売では抽選にもれたお客さんが残念がっておられました。

市の主催する”市民桜まつり”に参加すること

は一味違って、シルバー人材センター主催のおまつりが開催されたことは、その宣伝効果は基より、会員同士のつながりが深まったことと思います。

相模原市シルバー人材センターの組織力や会員の底力を発揮できる催しの一つ出来たことは、大変すばらしく感じました。

(シルバーまつり実行委員会)



## 活躍する女性会員 (袋詰めの就業)

シルバー人材センターで袋詰めの作業をする秋本千恵子さんにお話を伺いました。

会報「いきがい」の年4回と市の敬老の日関係のお知らせの袋詰めに主にされるとのことです。その他、身体障がい者の方の手作り品を配布する仕事や20歳のお祝いのお知らせを配布するお仕事をされるとのことです。

最近、民間のお仕事は減少してきているそうです。就業時間は、9時～16時で昼休みは1時間。

市の仕事が1年に数回なので前の仕事の手順のミスや失敗をノートにつけて置き、次のために2～3年前の記録を見て、同じ失敗を繰り返さないようにしているとのこと。今回は、9人で袋詰めをしたそうです。

やりがいはミスなくできた時の達成感やみんなの協力でぴったりと数が合った時で、工夫ししながら取り組んでいるとのこと。余暇は本を読むのが好

きで、特に推理小説をよくお読みになるそうです。

ボウリングは6年間、週2回で1回に8ゲームをこなす腕前だとか。

新しい方の協力とやる気がある中堅の人が教えながらやっているとのこと。

取材へのご協力をありがとうございました

(小林)



袋詰めの作業の方々

# 第5回 会員演芸会を実施

11月15日(金)、12時30分から、相模原市シルバー人材センター・会員演芸会実行委員会の主催による会員演芸会が相模原南市民ホールで開催されました。

今年で5回目となり、3時間30分に及ぶ長時間に亘る演芸会でしたが、唄や踊りが披露され、「がんばれ」「いいぞ」などの声援が飛び交うなどの熱演、観客席からは万雷の拍手と笑いありで

時を忘れるほど大いに盛り上がりました。皆さん練習の成果が存分に発揮されていました。

演目は ①唄 ②舞踊 ③民謡 ④エレキギター・ハーモニカ・ウクレレ・三味線の演奏 ⑤漫談 ⑥ハワイアンフラダンス と38の演目で、来場者数はおよそ130名でした。実行委員および出演者の皆様おつかれさまでした。

(山川)



シルバー写友会撮影

## 南ブロック会員親睦旅行記 奥日光紅葉を愛でる旅

令和元年10月23日(水)。快晴の早朝、各所で会員を乗せたバスは一路奥日光・鬼怒川温泉に向けて出発。途中、日光杉並木を通り、好天にも恵まれ、幸先の良い1日が始まりました。

日光に着き、東照宮では三猿・鳴き龍・陽明門・眠り猫に先人の技術・平和への思い、古き良き時代から流れる時間とロマンを感じるひと時を過ごしました。薬師堂では龍の絵と鈴音に感動しながら、宿泊先の鬼怒川温泉に到着。周辺観光では、大きく揺れる大吊橋を歩いて渡る元気さ。鬼怒川を守る対岸の可愛い楯鬼(たてき)の前で写真撮影。ホテルに戻り夕食までに温泉に浸かり、宴は飲み放題で大いに盛り上がり、初対面の同宿者も交えて深夜までカラオケ大会で時を忘れる。

2日目は8時前のお出発。いろは坂の紅葉を楽しみながら中禅寺湖を経て、一路、紅葉と豊かな清水の竜頭の滝へ。雨が止んだ戦場ヶ原を散策、轟音と共に流れ落ちる湯滝を眺望、修学旅行の美人ガイド

さんに集合写真もお願い。奥日光の紅葉望み、金精峠・とうもろこし街道・沼田宿を経て帰路に着く。

車中では副理事長提供のビンゴゲームで大盛り上がり。酒盛り・おしゃべりにも花が咲き、和気あいあいの中、降車地では次回旅行での再会を約束。紅葉を愛でる奥日光の旅を無事に終えることができました。南事務所の皆様ご支援ありがとうございました。(旅行幹事一同)



## 緑ブロック会員親睦旅行記 リニア見学センターと甲府への日帰り旅行

令和元年11月20日(水) 大型バス2台に66名(女性17名、男性49名)が分乗し、談合坂SAで合流して、リニア見学センターを目指しました。車体が浮上して時速500kmで走行できる原理を、模型を使っての実演説明があり、科学技術の素晴らしさが実感できました。リニア中央新幹線の2027年開業が待ち遠しくなりました。

山梨県のお土産と言えば信玄餅ですが、「桔梗信玄餅工場」見学後にお買い物を楽しみ、その後「響の里」に向かいました。若い女性3人での太鼓ショーを見ながら、昼食をいただきました。力強い太鼓の音に、元気をいっぱいもらいました。「響の里」の駐車場に鎮座しています信玄公の前で、乗車バス別の2組に分かれて写真撮影をしました。

その後、長野県まで足を延ばすことなく、開府500年で武田氏とのゆかりが深い「甲斐善光寺」に参拝しました。堂内の所定位置に立ち、天井に向かって手を叩くとき、自分の想いの強さが手に伝わり、それに応じて龍の鳴き声が変わったように感じました。日本一の「鳴き龍」だそうです

次の「ハーブ庭園」見学では、ローズゼラニウムハーブの効能を実感し、最後に、ワインの「シャ

トー勝沼工場」を見学後、試飲で喉を潤しました。

快晴で快適な気温に支えられて、10地区の会員が集い、楽しい旅行になりました。

車中では自己紹介後、カラオケに入りましたが、甲府は距離的に近いため、希望者全員が歌えず残念でした。参加された皆様のご協力、予定時間通り全員が無事帰路に就くことができ、誠にありがとうございました。(旅行幹事一同)



# 【安全管理委員会からのお知らせ】

## 【就業現場の安全巡回結果報告】

就業事故防止活動の一環として、安全管理対策員による就業会員の現場安全巡回を6月から10月までの5カ月間にわたり実施致しました。昨年度と同様に対策員が在籍する地区を巡回区域とし、問題の把握とその是正並びに、過去の事故事例に基づき安全指導に努めました。その結果を次の通り報告致します。これを機会に、今後共会員一人一人が安全意識を強く持ち就業前の事前チェックを徹底して、安全就業に努めるようお願い致します。安全巡回へのご協力有難うございました。

<安全巡回結果>

( ) 内は、昨年度実績を示す

作業名	巡回箇所	巡回対象者	指摘件数
植木作業	6 3 (75)	1 6 6 (203)	1 (15)
除草作業	1 1 9 (83)	5 6 7 (390)	7 (10)
その他(駐輪清掃他)	7 9 (83)	3 6 1 (189)	1 ( 7)
合計	2 6 1 (241)	1 0 9 4 (782)	9 (32)

## 【交通安全教室のご案内】

- (1) 自転車の交通安全教室の開催 (日頃から自転車を活用している方は必ず出席して下さい)
  - (2) 高齢ドライバーの安全運転教室 (日頃から車を活用している方は必ず出席して下さい)
- ※詳細については、折込みの募集用チラシをご参照下さい。

## 各種技能講習会を実施

### 【掃除のテクニック講習会】

11月26日と12月3日の2回、南・中央事務所の各会場で掃除のテクニック講習会が開催されました。

講師は(株)ダブル・ビーイング代表の響城れい先生で関西弁の軽妙な語り口から、受講生からは「大変面白い」との対話から始まりました。

先生から参加動機を質問され、すでに仕事を行っている方はもっとスキルアップしたい。まったく経験がない方は新しいことにチャレンジしたいと意欲のある言葉に先生も感心されていました。

掃除は、あまり頑張らないでやる。迷ったら辞め

る。頑固な汚れに挑戦しない。専門的な汚れは専門家に任せる。仕事は笑顔でやればお客様に好印象を与えるので、元気な挨拶が大事との心得えを説いておられました。わくわくしながら楽しく仕事をする。「わくわく清掃」と題しての講習会でした。

(山川)



### 【一般高齢者対象毛筆筆耕講習会】

11月に南・緑・中央ブロックの各会場において、相模原市在住の60歳以上の方を対象とし、お正月に向けた年賀状と宛名書きの毛筆筆耕講習会が小山荘雪(あじさい大学書道講師)先生をお迎えして開催されました。

この度は中央会場にて開催された毛筆筆耕講習会を取材させていただきました。

各会場の参加者は、南会場(22日)は10名、緑会場(25日)は9名、中央会場(29日)は9名の合計28名が参加されました。

毛筆筆耕講座は、手紙と葉書への注意点と宛名の文字の位置と大きさ、印章の作り方・押印の位置等についての講義に続き、毛筆による年賀状・宛名書きの基本的な筆使い、筆の持ち方、配置、文字の大きさ等の指導と添

削を受け、熱心に年賀状の書写に取り組んでいました。毛筆の面白さは自由に一字の中に緩急と抑揚をつけることにあります。毛筆に興味を持たれた方、初めて毛筆で書かれた方などが参加されていました。これを機に、筆に馴染む時間を多く持っていたできるように希望します。

(松本)





# めぐり会いの広場

## 人事異動

採用 令和2年1月1日付  
 事務局 固有職員 田島 進志  
 中央事務所 固有職員 松坂 史雄  
 中央事務所 嘱託職員 海瀬 みなみ  
 退職 令和元年12月31日付  
 中央事務所 嘱託職員 武者 忍

## シルバーの日 活動報告！

10月の第3日曜日「シルバーの日」にあわせ、今年も地区ごとに、駅前などでのボランティア清掃を行いました。皆さんで元気に楽しく清掃を行うことで、心も綺麗になりました。

地域班では「シルバーの日」以外にも、それぞれの地域に適した色々なボランティア活動や啓発活動を行っています。積極的に参加しましょう。



## 各事務所連絡先

- < 事務局・中央事務所 > ☎042(754)1177
- < 南事務所 > ☎042(745)2158
- < 緑事務所 > ☎042(783)1313
- < 津久井連絡所 > ☎042(780)1872
- < 相模湖連絡所 > ☎042(684)3126
- < 藤野連絡所 > ☎042(686)6505

## 読者投稿作品川柳

強かった

相手を褒める

負け試合

田名 畠山 義喜

老眼鏡

見たくなかった

物も見え

集まれば

寒い日だって

あたたかい

楽しさを

覚えたこの手

働く手

二本松 見城 マサ子

## 読者投稿作品募集

めぐり会いの広場は、読者の皆様に自由投稿いただき作品で交流を図る場（紙面）です。

今月号は、二本松の見城マサ子さんから新たに応募いただきました。

めぐり会いの輪が広がったこと嬉しい限りです。

この輪を更に広げるため皆様に短歌・俳句等の読者投稿作品を応募いただきますようお願いいたします。

お問い合わせは、事務局まで。

## 編集後記

新年号にあたり、シルバー人材センター会報誌のタイトルである「いきがい」についてあらためて考えてみた。生きがいつて何？国語辞書を引いたら、「生きる張り合ようなこと。」「見つける」と書いてあった。どうも「いきがい」は自然に発起することではなく「見つける」ことに主眼がありそうだ。

ある兄妹が「幸せの青い鳥」を探しに行く童話を聞いたことがある方は多いと思う。この中で、本当の生きる張り合いや喜びは手の届く身近なところにあることに気がつく。

旅行にでかける。おいしいものを食べる。人に会って話をする。おもしろい映画やテレビをみる、などなど。生きていて良かったなと思うことは、日常的にある。それが、「いきがい」というのかも知れない。また、「いきがい」は、あるように努力することかも知れない。

今年も、会報「いきがい」では、そんな、日常的にある会員の就労情報、イベントや旅行記などを取材し発信してゆきたい。皆さまの「いきがいを見つけた」資になれば幸いです。

(山川)